

21世紀のバッハ
東京バロック・スコラーズ 第19回演奏会

巨匠の 創作の足跡

バッハとパロディ Part 3
カンタータからミサへ

指揮とお話

三澤洋史

J.S. Bach

モテット 5番

Komm, Jesu, komm BWV229

カンタータ 67番

Halt im Gedächtnis Jesum Christ BWV67

カンタータ 136番

Erforsche mich, Gott,
und erfahre mein Herz BWV136

ミサ曲 イ長調

Missa in A-Dur BWV234

2023. **6.18** 日

江東公会堂

ティアラこうとう【大ホール】

開場 13:30 開演 14:00

チケット 3,500円 (全席自由)

チケット
発売日

3/20

チケットの
取り扱い

■ チケットぴあ <https://t.pia.jp> Pコード: 237240
■ イープラス <https://eplus.jp>
■ 東京バロック・スコラーズ URL: <http://misawa-de-bach.com>
TEL: 090-6034-2138 E-Mail: tbs-bach2023@misawa-de-bach.com



巨匠の創作の足跡

バッハとパロディ Part3 ～ カンタータからミサへ

音楽監督 三澤洋史

バッハに見られる「自作の転用」を紐解いていく行為は、まさにタイトルで掲げた「巨匠の創作の足跡」を辿る実にエキサイティングな冒険である。たとえば、カンタータ第67番6曲目アリアでは、復活後、弟子たちの前に現れたイエスの言葉、「あなたがたに平和があるように」（ヨハネによる福音書第20章26節）という言葉に付けられた、フランス序曲風の付点に満ちた3拍子の音楽と、「イエスは戦う我々を助けてくれる」という歌詞のエネルギッシュな4拍子の音楽とが交互に並べられ、「平和」と「戦い」とのコントラストを表現している。

それがミサ曲イ長調に転用されると、グロリアの「いと高きところには栄光、神にあれ」の輝かしい4拍子と、「地には平和、御心に適う人にあれ」の3拍子の対比となるが、キリエも3拍子で始まって、「憐れみ」「地上」という共通項で結ぶ。

同じ要素を使いながら、カンタータのドイツ語の世界と、より普遍的なラテン語のミサの世界との双方が“独自の表現”となって我々の前に立ち現れる。こうした驚嘆せざるにはられない足跡を、私の解説と演奏とで、皆さんにも是非体験していただきたい。



出演者



ソプラノ
國光 ともこ



アルト
高橋 ちはる



テノール
寺田 宗永



バス
大森 いちえい

管弦楽 / 東京バロック・スコラーズ・アンサンブル

古楽器奏法の伝統を生かしつつ、モダン楽器による最高のバッハを演奏できるオーケストラを作りたい、という東京バロック・スコラーズのコンセプトのもと、一流のプロフェッショナルメンバーを集め、構成されている。

ヴァイオリン	伊藤文乃 (コンサートマスター)	杉山和駿
ヴィオラ	佐々木真史	チェロ 西沢央子
コントラバス	高山健児	フルート 岩佐和弘、青沼愛
ファゴット	鈴木一志	オーボエ 紺野菜実子、大上穂花
トランペット	伊藤駿	オルガン 浅井美紀

合唱 / 東京バロック・スコラーズ

2006年1月、指揮者三澤洋史が「21世紀のバッハ」を実現するために立ち上げた団体である。合唱団員はオーディションを通過したアマチュアメンバーにより構成される。演奏はもちろん、公開レッスンや講演会など多角的な活動を行っている。

会場 アクセス

江東公会堂 ティアラこうとう
〒135-0002 東京都江東区住吉 2-28-36



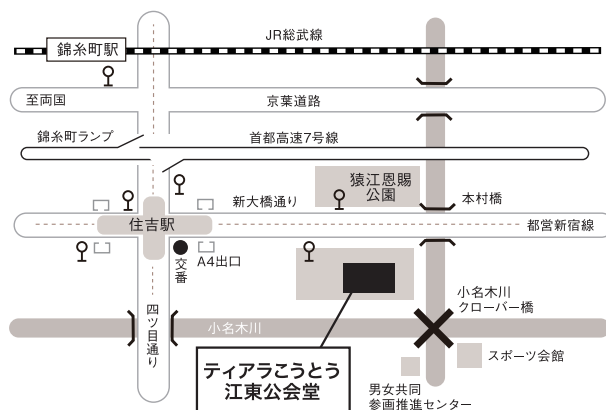
▲アクセスMAP

●電車利用の場合

都営地下鉄新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉」駅 A4 出口より徒歩 4 分

●バス利用の場合

1. 東 22 系統「錦糸町駅前」⇄「東陽町駅前」「住吉駅前」下車徒歩 5 分
2. 錦 11 系統「錦糸町駅前」⇄「築地駅前」「住吉駅前」下車徒歩 5 分
3. 錦 28 系統「錦糸町駅前」⇄「東大島駅前」「江東公会堂前」下車徒歩 1 分



団員募集

東京バロック・スコラーズでは、三澤洋史の指導のもと、一緒にバッハを楽しみ、ステージを作り上げていく仲間を募集しています。今後はマタイ受難曲を視野に入れて練習を進めていく予定です。入団に際してはお声を聞かせていただいています。練習見学、オーディションの詳細は順次 HP に掲載していきます。皆様のご参加をお待ちしています。



▲ホームページはこちら